

ナナ 聞くんじゃないかった。みゆきは？

みゆき ウーン……。

ナナ 思いついたらメールして。

いづみ (ナナに) あなたはどんな役がやりたいのよ。

ナナ 私にしか出来ない役！

いづみ かつこいい。どんな役がナナにしか出来ないの？

ナナ それを探してるのよ。いつか見つけるわ。

いづみ 私は、どんな役でもやってみたい。どんな役でも、私なりにやればいいと思うの。

ナナ じゃあ、みんなバカみたいになっちゃうじゃん。

いづみ なんてよ！

みゆき とにかく！ そのためには努力すること。レッスンが大事よ。

ナナ そうね。先生が言ってた。若いうちにレッスンをさぼっていると、老ける

みゆき 早いってよ。

ナナ 本当に！
先生がそうだったんだって。

スローな音楽に変化。照明、暗くなる。三人はチェアーに戻る。

みゆき どんな役がやりたいのか、考えたことはありませんでした。どんな役でも

も素敵に思えたその頃。どんな魚を捕まえるかと想像するより、海に飛び込んで泳げるかどうかで、頭はいっぱいだったのです。初舞台の思い出は、心臓が口から飛び出すほどの緊張感。とにかく間違えないように、失敗しないように、ちゃんとやる事が出来るかどうかで、必死でした。忘れられない初舞台の日。私たち三人は、同じ楽屋でした。

いづみ 季節はずれの台風で、劇場の外はどしゃぶりの雨。(雷と雨の【SE】

と照明)でも、楽屋の中はそれ以上の嵐でした。

全員、チェアーを反転させて後ろ向きに。M2A終了。

第二場「初舞台」

照明変化。初舞台の日の楽屋。本番直前の緊張感の中で。

ナナが立ち上がり、チェアーをひと回りしてチェアーに戻る。

いづみ (楽屋に帰ってきたナナを見て) トイレ混んだ？

ナナ 行列。

いづみ
みゆき
いづみ
ナナ
いづみ
みゆき
ナナ
みゆき

いやだ、どうしよう。本番何分前？
もう始まるわよ。
いやーん。並んでる？
隣のビルに行った方が早いわ。
どうしよう！
（ナナに）早替わりの衣裳、ちゃんとスタンバイした？
したと思うけど。
忘れてたら大変。確認しよう。

みゆきとナナは、自分のパネルの小道具入れから付帳か台本を取り出し、ページをめくりながら確認作業を行う。

みゆき
ナナ
みゆき
ナナ
みゆき
いづみ
みゆき

一幕三景「貴方に夢中」
ピンクのタコ足、リボン、頭飾り。
日傘、タップシューズ、キラキラ星、下手の早替わり部屋。
用意したわ。
ワイヤレスは7番。
（後ろを向いて化粧しながら）どうしよう！
一幕四景「ダンシング・イン・ザ・ダーク」赤いドレス、羽根飾り、ベ
ーハイ、上手のホリ裏。

ナナ
いづみ
みゆき

OK。
（後ろを向いて化粧しながら）どうしよう！
一幕八景「ニュー・バンド・ワゴン」黄色のダルマ、網タイツ、シルク
ハット、銀ハイ、ステッキ。

ナナ
みゆき
いづみ
みゆき
いづみ
みゆき
いづみ
みゆき

大丈夫。
いづみ。
何よ。
あんたステッキ大丈夫？
ステッキ？
ゲネプロでスタンバイ忘れたでしょ。ちゃんと置いてきた？
なんの曲だっけ？
「プリティ・ガール」よ。みんながステッキ持つところで、あんた
だけスリッパ持つてて怒られたでしょ？
ああ・・・置いてきたと思うけど・・・い、いえ、置いてきたわ。
下手に置いた？

いづみ
みゆき
いづみ
みゆき
いづみ
みゆき
いづみ

下手つてどっち？
楽屋出て右よ。
トイレのある方でしょ？
トイレは両方あるのよ。
いやーん！

いづみ、慌てて楽屋から出て行き、退場。ナナがいたたまれないようにチェアーから立ち上がり、イライラと歩き回って。

ナナ

どうしよう・・・なんか失敗しそうよ。(恐怖)

みゆき

大丈夫よ。

ナナ

私、本番弱いんだもん。絶対失敗するわ。失敗の天才なんだもん。

みゆき

やめてよ、こっちまで緊張しちゃうわ。

ナナ

・・・「貴方に夢中」の歌詞さ。「あなたの愛を」って歌うのが1番だっけ？

みゆき

(驚く) 2番よ！ 1番は「私の夢を」

ナナ

やっぱり忘れてるわ。じゃ、3番が「素敵な夢を」？

みゆき

いえ！ 3番は「素敵な恋を」！

ナナ

・・・絶対覚えられないわ、そんなの。

みゆき

1番が「私の夢」2番が「あなたの愛」3番が「素敵な恋」！

ナナ

もう忘れちゃった。無理よ。ひと月やっても覚えられなかったんだもん。

みゆき

・・・ねえ。全部「あなたの愛」って歌っちゃダメかしら？

ナナ

(強く) ダメ!!

みゆき

お願いよ。そこでトチったら、全部パーって白くなりそうなのよ。ほかの歌詞までゴツチャになっちゃったら、私、責任持てないわ。

ナナ

もううんざりするほど稽古してきたじゃないの。

みゆき

それがアテにならないのよ、私。・・・最終稽古の時、歌ってる最中に

ナナ

ふと演出家と目が合ったの。アッ、見られてるって思った瞬間に、パー

みゆき

ッて真っ白になっちゃって。

ナナ

うそ。

みゆき

ホントなの。歌詞も振付もぜんぶ吹っ飛んだわ。ここはどこ、私は誰

ナナ

って感じで・・・みゆき、実はね、私、前科があるのよ。

みゆき

前科!?

ナナ

小学校のピアノの発表会で、本番の途中で分からなくなっちゃって、泣き出しちゃったことがあるの。もし本番でああなっちゃったら、私、初舞台で引退よ！ あああつ！ 私、絶対1番で「あなたの愛を」って歌っちゃう！・・・歌っちゃう!! (パニック)

みゆき

・・・分かったわ、ナナ。あそこは私たち3人だけのコーラスだから、

ナナ

いづみがOKしたら変更しましょう。

みゆき

ありがとう！

ナナ

だけど今日だけよ！ 見つかったら怒られるに決まってるんだから！

ええ、恩にきるわ。明日は大丈夫よ。明日になりゃベテランだ。

いづみが楽屋に戻ってくる。

いづみ
みゆき
いづみ
みゆき

ステッキ置いてあったわ。(自分のチェアーに座ろうとする)
いづみ。悪いけど変更があるの。

(異常に驚く) 変更——っ!!

(うんざりして早口になる)「貴方に夢中」の歌詞さ、3番とも全部「あなたの愛を」で統一するからね。

(異常に驚く) ええ——っ!! (バタバタ動く)

(爆発寸前) 分かったわね、お願いよ。

どーしてこんなドタンバに変更すんのよ!!

(ちらとナナを見る) 仕方ないのよ。

覚えられないわよ! そんな急に言われても!

いづみ
みゆき

簡単になったんだからいいじゃないの! 全部「あなたの愛を」って歌えばいいの! 覚えたでしょ!

いづみ
みゆき

覚えられない! 振りはどうすんのよ! 「あなたの愛を」は前を指さして「あなたの」って言うのよ。「私の夢」は手を胸に置いて「私の」よ。手を胸に置いて「あなたの」って歌うの!?

いづみ

歌えるじゃないよ!

いづみ

ええ——っ!! 合わせなきゃ無理よ! 合わせなきゃ覚えられないわっ! (地団駄)

みゆき

じゃあ、合わせましょ! ……ちくしょう。イチニノサンシ!

三人、アカペラで歌と振りを確認。

三人

貴方に夢中 素敵な

貴方に夢中 ホールド・ミー・タイト

私が好き ほんとに

貴方の手で 踊るの

今夜たしかめたい

「あなたの愛を——」!

いづみ
みゆき

やっぱりヘンよ。

もう決めたの。変更はなしよ!

【SE】上演開始を告げるベル(ブザー)。緊張する三人。ナナはコーヒーを入れた紙コップを手につつ(中身は入れない)。

みゆき

(唾を飲んで) 時間だわ。行くわよ。用意はいい?

いづみ

(みゆきの耳元で) トイレに行く暇ある?

みゆき

もう我慢なさい。

いづみ

(みゆきの耳元で) うそ。

みゆき

今ベルが聞こえたでしょ。あと2分で始まるのよ。トイレのことはいつ

たん忘れてちょうだい。

いづみ

(みゆきの耳元で) 忘れられないわ。

みゆき

(爆発する) 今から行ってちゃ間に合わないのよ！

ナナ

(みゆきの剣幕に思わずのけぞって)・・・あつ！

いづみ

・・・どうしたの？

ナナ

衣裳にコーヒーこぼしちゃった。白い衣裳のまたのところにコーヒーこぼしちゃった。(泣き始める) もう出られないわ、私・・・!!

みゆき

(いづみに) ティッシュ取って！

いづみ

はい！(みゆきにティッシュの箱を渡す)

みゆきはナナを後ろ向きに立たせ、懸命にシミを拭く。

みゆき

(拭きながら) 大丈夫よ。こうやって拭けば、目立たないわ。

ナナ

(泣きながら) どうしよう。彼が見に来てんのよ。みんなで白い衣裳で、私だけまたのところにシミだなんて。

みゆき

ほら。きれいになったわ。どう？ もう目立たないでしょ。

ナナ

(涙を拭きながら) ほんと？・・・分からない？

いづみ

(顔を近づけて)・・・じつと見れば分かるわね。

ナナは声を上げて泣く。みゆきはいづみを突き飛ばして。

みゆき

この人は踊ってんのよ！ またばかりじつと見てる人がいるもんですか！ 平気よ。舞台はいろんな色の照明がついてんの。絶対分らないって。ねっ。

ナナ

白い衣裳にシミをつくるなんて！

みゆき

(大爆発) だったらハダカで踊ったら!!

二人はみゆきの剣幕に思わず硬直してあどすさり。

いづみ

・・・みゆき。落ち着いて。みんな緊張して高ぶってんの。初めての舞台なんだから仕方ないわ。

みゆき

・・・私だってそうよ。私だって緊張してるの。恐ろしくてガタガタなのよ。ゆうべはふとんの中で最悪のことまで考えた。歌や踊りを忘れる。衣裳を間違える。帽子やステッキを落とす。舞台上で転んだあと袖に走り込んで照明にぶち当たる。観客に笑われ、みんなの前で演出家に怒鳴られる。なんとか寝付いたのは夜中の3時なのに、けさはもう5時前に家を飛び出して来たの。なぜだか分かる？ 万が一劇場に遅刻して迷惑をかけたらどうしようと思うと、恐くてたまらなかったからよ。この二年間、この日を夢見てレッスンして来たのよ。役が決まってからは、それこそ必死で稽古してきた。からだはガタガタ。神経だってオリンピックク

いづみ

ナナ

みゆき
いづみ

の選手なみに張りつめてる。そんなに頑張つてやって来たのよ！ これだけの思いを！ それだけの努力を！ この二年の情熱を！ 本番の舞台で台無しにすることが出来る!? 勇気を出して！ 自分たちを信じて！ 開き直つてやるしかないでしょう！ そうじゃないっ!?

・ ・ ・ 素敵。あんた、参議院に立候補したら当選確実よ。みゆきの言う通りだわ。失敗した時は失敗した時よ。

そうね。私も勇気が出てきた。開き直つてやるわ。さっきの歌詞、変更しなくてもいいよ。

変更したのよっ!!

ちよつと待つて！ 舞台の神様におまじない！ 今日の舞台がうまくいきますように！

三人は輪になり、舞台におまじないのキス（投げキスした手を舞台に付ける）。音楽が始まり、三人は慌てて舞台に走つて行く。

M 3 「貴方に夢中」

三人

貴方に夢中 素敵な

貴方に夢中 ホールド・ミー・タイト

私が好き ほんとに

貴方の手で 踊るの

今夜たしかめたい

あなたの愛を——！

貴方に夢中 夢中よ

ホールド・ミー・タイト

三人のダンス。いづみは「あなたの愛を」で振りを間違える。その時三人は「あっ」という顔をするが、踊り続ける。曲終わりで、三人は自分のカウンターチェアーに座つてポーズ。M 3 終了。すぐにM 3 Aが始まり、照明変化。

M 3 A 「初舞台の思い出（BGM）」

三人、カウンターチェアーにすわつて会話。

いづみ

間違えた！ やっぱり間違えた！